

記念講演 韓国併合100年と日朝関係

和田春樹 東京大学名誉教授 日朝国交正常化連絡会顧問
「東北アジアに非核・平和の確立を！日朝国交正常化を求める連絡会」総会
2010年7月23日

今年韓国併合から100年にあたる。1910年8月29日に、韓国を併合するという天皇の詔書が出ました。これによって、大韓帝国は地上から抹殺されて朝鮮半島は日本の植民地になったわけだ。その一週間前、8月22日に併合条約というものが調印された。当時の朝鮮総督寺内正毅と、大韓帝国の総理大臣李完用との間に条約が結ばれたが、その併合条約というものは、第1条において、大韓帝国の皇帝が統治権を日本の天皇に譲与するというもの。第2条は、日本の天皇はこれを受け取り、併合を承諾するという条約だった。

つまり、韓国側が国をお譲りするから、あなたたちに併合していただきたいと、こういう風に言うので、日本の天皇は、日本の国家が併合してやるという条約だ。

この条約が結ばれて、一週間後に公表された。公表とともに、この条約が発効したということになっていて、世界中に知らされるわけですが、その上で日本は天皇の詔書が出て、韓国を日本に併合するという風に詔書が出た。この詔書というものは、当時の新聞にも掲載されている。

だが、この天皇の詔書には、条約が結ばれたということは書いていない。条約に日本側は重きを置いていません。条約は韓国人をなだめるためだけのもので皇帝が譲ったんだと、日本側はそれを受け取ったに過ぎないというふうになっている。したがって、韓国ではこの条約は許されないという気持ち強い。

併合100年に当たって、先般5月10日に、「日・韓知識人共同声明」というものを発表しました。両国の知識人200人の声明であります。内容は、併合は「侵略」、「占領」、「威圧」によって強制されたものであり不当な過程であった。そして併合条約はそれが自発的な韓国側から申し出によるものであると説明しているものであって、第1条も第2条もすべて欺瞞的なものであると。不当なものであると。したがって、1965年の日韓条約第2条において、併合条約の無効が宣言されているが、その第2条の日韓の解釈の違い、日本側は対等な条約であって自由な意志によって結ばれたものであるから有効だと日本政府は説明したが、今は無効になったと。韓国側は最初から無効であったといていた。今となってみれば、韓国側の主張を理解すると、この条約は本来、不義不平等なものであると、したがって、韓国側の主張を受け入れるという声明だ。

この声明はいま500人ずつの声明にしようということで、集めている。いま大体480人ぐらいになっていて、25人ぐらい女性の方たちにやってもらっていて、実質500人に達成している。

韓国では3大新聞をはじめ、大手の新聞の主筆はみな発起人になっている。これが発表されたとき、記者会見には、日本側からは、朝日新聞と共同通信しか来なかった。韓国側は、特派員はもちろんテレビ局もきた。東亜日報は3面に渡って記者会見を2、3面に報道し、発起人である200人の名前を全部掲載した。

これらは何を意味しているか。韓国人にとって、この併合条約の問題が、きわめて重要な問題だということだ。日本では報道する必要性を感じていない。この落差について、改めて驚いた。これが現実だ。日本人が朝鮮半島の人々と本当に心を通わせて、協力的な関係に立っているんだったら、この差を縮めなければならないというのが、本質の課題だ。

また、この声明には慰安婦問題や強制連行、関東大震災時の虐殺の問題なども挙げられている。しかしもう一つ、朝鮮と国交がないと、国交正常化を進めるべきだということが書いてある。併合100年の最大の問題は、われわれと朝鮮との間に関係がないということ、関係がないどころか、最悪の事態になっているということに問題がある。100年経っても、日本はかつて植民地にした朝鮮半島の北半分の国と、国交を持っていない。日本は全世界の国

と国交を持っている。192 の国と国交を持っているが、ただ一つだけ持っていない、それが北朝鮮だ。これは異常だということ。

併合 100 年の年に、何が異常かと、このことが一番異常だということ、日本の国民が理解する、理解させるということがわれわれの課題であると考え。

北朝鮮という隣の国と関係を作るとは自分たちの問題ということがわかっていない。そういう状態にあることが極めて異常だ。

現在では、貿易もない、飛行機もない、船も来ない、完全に遮断されている状態だ。そして外交交渉は途絶している、誰もやっていない。そういう状態だ。最悪の状態。

日本は国交正常交渉をしていくことになっている。それを辞めたとは言っていない。

65 年の韓国との正常化から 45 年経ったが、いまだ北朝鮮とは国交がない。91 年の交渉開始から 20 年経っても、まだない。91 年の国交正常化交渉をスタートした当時と比べて、今の状況はもっと悪い。人の往来も少なくなって、船も行き来しない。この異常なことを誰も訴えることができない。

かつて自分たちが植民地にした関係の国、このことをよそに頼んで解決してくれということはおかしい。日本は長い間アメリカに抱きかかえられていたから、アメリカが関係をよくしたら、われわれも日朝交渉ができるだろうと待っているけど、そういうことは恥ずかしいことだ。

今の状態がおかしい、そういう姿勢は恥ずかしいということ、日本人がわからなければ、この問題は解決しない。つまり日本がまともな国家ではないということ。

だから北朝鮮とのこの問題は、日本にとって非常に深刻な問題だ。あげくの果ては在日朝鮮人に対しては徹底して嘲笑して、ハラスメントを加えている。

在日朝鮮人は朝鮮半島南部から基本的にはやってきて、先祖は南にあり、日本に住み、親族は北に移住して住んでいるという、体が三つに切れてる様な存在、したがって、韓国、日本、北朝鮮の関係が、良いものであって欲しいということが一番願っている存在だ。そういう存在が、日本にとっては宝でしょ。そういう人たちを徹底的に辱めているということは異常だ。高校無償化の問題はそういうことだ。こういう状態が続いていることが異常だ。併合 100 年の年にこういう状態にあることが異常である。

日朝交渉は、無条件で交渉しなければダメだ。そして無条件で国交を正常化すればいいと考えている。国交正常化するには、基本条約を結ばなくてはならない。そうすればいつだって交渉できる。拉致問題も核問題も。無条件で交渉を再開しろということ、政府に求めていくのと、その先で国交を樹立するべきだと求めていくことが重要だ。